



国府町にあるかやぶき交流館で日本文化交流

友だちになって“にこっと”笑顔に

にこっと

～ 一般社団法人外国人ライフサポート nicotto (鳥取市) ～

気軽にコミュニケーションを！

令和7年8月に一般社団法人外国人ライフサポート nicotto を立ち上げた西川信彦さん。
nicotto の前身である icotto (International Communication Tottori) という団体を令和4年に設立し、これまで国際交流の活動を続けてきました。「メンバーは、30代から40代の6名。英語が話せなくても伝えたいという思いさえあればちゃんと伝わるとわかっていて、それを臆することなくできる人たち。そして、僕が言うことを、いいね！と言ってくれる人たち」と話します。

もともと英語を学んでいた西川さん。英語を話すことができる環境がほしいと、タイム（とっとり国際交流連絡会）や多言語国際交流サポート TIA といった鳥取市内の国際交流団体にも所属していました。タイムでは会長を務めたことも。タイムはより専門的な視点で国際理解を進める団体、TIA は通訳ボランティアとして困っている外国人を支援

する団体で、それぞれ目標としているものがありました。これらの国際交流団体に所属し活動をしていく中で、「もっと気軽に外国人とコミュニケーションをとりたい。日本人と外国人が友だちになれる場をつくるために、新たに団体を立ち上げたい」という思いが生まれ、icotto を立ち上げました。icotto には気軽に「行こっと」の意味が込められています。

月1回のたこ焼きパーティー

最初にはじめたことは、鳥取市湖山町にある国際交流プラザで月に1回開く、たこ焼きパーティーです。「たこ焼きをコロコロと焼いて、仲良くなる会。コミュニケーションのハードルを下げて、英語を話せないといけないという先入観を壊したかった」と話します。「いっしょに料理を作って食べると、自然とコミュニケーションがとれる。フィリピン料理やインドネシア料理を作ったこともありますよ」。そのほか、アフリカのドラムイベントやダ

ンスイベントも開催してきました。顔と顔を合わせて話をすることに、コミュニケーションの一番大切な部分があると感じていた西川さん。「集まっていっしょになにかをすることが大切」と続けます。

イベントでは、日本人にとっては英語を話すことができ、外国人にとっては日本人の友だちができるという、双方のメリットを意識しています。また、外国人にお金を払ってきてもらうとか、自分の国のことを紹介してもらうといった「お願い」ではなく、対等の関係を心がけています。「外国人が先生で日本人がお客さんだと、友だちにはなれないので」と、にっこり。「icotto が友だちづくりをサポートできたら」と笑顔で話します。



鳥取市内のカレー屋さんでカレーを食べて交流「ナマステ〜」

Let's Enjoy Cooking!!



たこ焼きパーティー



インドネシア料理パーティー

作って食べて
友だちになる



アフリカンドラムダンスで大盛り上がり



青空の下でバーベキュー！

告知

「多国籍で朝ごはん」

- ◇ い つ : 毎月1回開催します♪
- ◇ 持ち物 : 料理を一品お持ちください。
- ◇ 内 容 : おいしいものを持ち寄って、主に英語で交流します。

※場所は未定

参加者
募集中!

告知

「meet & greet」

- ◇ い つ : 毎月1回開催します♪
- ◇ どこで : さざんか会館
- ◇ 内 容 : いっしょに料理をつくり、食事をします。主に日本語で交流します。

※鳥取市中央人権福祉センターと共催

参加者
募集中!

お互いの文化を知り、多文化共生につなげるきっかけに！
興味をもたれた方は、ぜひご連絡ください。

◆ 連絡先 : nicotto.tottori@gmail.com

技能実習生にも間口を広げたい

鳥取市中央人権福祉センターの協力をえて、技能実習生といっしょに鳥取市富安のさざんか会館で焼きそばパーティーを開いたことも。このときは、高校生も参加したそうです。「インドネシアの技能実習生がサッカーをやっていて、高校生たちもサッカー部で。焼きそばパーティーの後、いっしょにサッカーをしたときいています。その後も定期的に遊んでるんじゃないかな」。

「イベントをすると、来るのは留学生やALT。技能実習生にも来てもらいたくて」と、技能実習生の居場所づくりにも取り組みます。「地域の人と技能実習生がつながり、あいさつができるくらい顔見知りの関係にもっていきたい。福祉的な要素も大切になってくる」。

法人化で企業や行政とも連携

技能実習生と話をしていく中でみてきたことも。日本人にとって当たり前の伝え方や考え方も、文化の違いによって外国人には伝わらなかったり誤解が生じることがあります。「その背景となる文化や価値観を知れば、『なぜ伝わらないのか』『なぜそう考えるのか』が理解でき、トラブルを防ぐことができます」。「私たちは、お互いが歩み寄るためのきっかけ作りや、丁寧な説明を行うことで、その橋渡し役になりたい」と力を込めて話します。今年8月に nicotto を社団法人化し、「nicotto」として活動をスタートしたばかり。法人化することで地域や企業と連携し、一緒に楽しみながら続けていける活動にしていきたいと考えます。

「日本人と外国人が仲良くなって当たり前につきあえる、そんな“にこっと”笑顔が増える社会になれば。いつもだれかがいて、好きなときにきてちょっとしゃべって帰る。そんな空間をつくりたい」。この取り組みを広げ、多文化が共に生きる社会を実現することで、より平和で楽しい世界につながると信じ活動を続けています。



COLUMN 社会福祉士 × 英語

社会福祉士の資格をとろうと思ったのは……

僕が家庭の事情で苦しい状況が続いていたとき、社会福祉士の方に会いすごく救われたんです。福祉制度がちゃんとあって、お金がなくても助かることを知って。なんで知らなかったんだらうって。



西川 信彦さん

それで、福祉の世界を目指し 30 歳で社会福祉士の資格をとりました。でも、当時、正職の仕事はなく。福祉って必要とされているのに、社会であまり評価されていない。福祉のほかにもう 1 つ武器が必要だと思って、興味があった英語を勉強しました。35 歳で留学し、国際交流に自分のマインドをシフト。僕にとっては、生きていく仕事として、社会福祉と英語があります。

nicottoとは別に、こんなこともしています！ 海外スタディプログラム



2月にインドにいっしょにいきませんか？

人生観が変わるかも！？

◇訪問先：ブッタガヤ市および周辺地域

◇内 容：支援するフリースクール、ブッダが悟りを開いたとされる世界遺産マハボディ寺院を訪問します。現地村人との交流もあります。



問合せ先

一般社団法人外国人ライフサポート nicotto

〒680-1145 鳥取県鳥取市西円通寺96番地6 Eメール：nicotto.tottori@gmail.com

